様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シー ト

企業名	トヨタ自動車株式会社

安全衛生取組事例

1. 安全レベル向上の取組み

・安全コンテンツのWEB化
・現地現物にこだわった安全活動
・製造職場トップ全員で腹を割った本音議論

2. 構内で働く全ての人の安全を守る取り組み

・仕入先様への困り事対応
・各地域(グローバル)の仕入先様への寄り添い

3. 危険体験によるKY能力向上の取り組み

・VRを活用した「災害体感」

4. 疾病の未然防止の取り組み

・AIを活用したエルゴ評価の精度上昇・工数低減

安全レベル向上の取り組み

WEBコンテンツの充実を図り、誰でもどこで安全を学べる！

(1) e-安全活動展

WEB上で過去災害の学び、新技術、健康 等の情報がいつでも入手出来る

熱中症情報

過去災害動画

改善好事例動画

(2) e-安全伝承館

「過去災害を風化させない、ルールの背景を伝える」べく設立した安全伝承館であったが、現地まで足を運ぶ必要があり職場都合で訪問出来ないメンバーが多数いた

WEB上で閲覧可能に！
360度カメラで作成し、まるで現地にいるかのような状況を再現

製造現場から安全活動の困り事を現地現物で直接役員に相談、指導を頂き、改善スピードアップ

全社安全現地現物活動

- 重点災害発生部署、複数件の災害発生部署、災害が無く日頃安全活動を頑張っている部署を役員３名が１回/月程度で訪問
- 説明部署は現地現物にこだわって説明

作業者の生の声を聞く

やり辛い作業を現地確認

改善事例の共有

役員から直接の指導、激励

安全に対し腹を割って議論、難題の糸口を切り開く

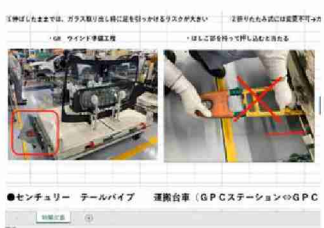
腹落ち研鑽会

- 製造現場を担う技能系トップ全員集合で議論し職場に持ち帰る

＜議題例＞
災害年間目標を必達するには？
管理者が現場を見る時のポイントは？
危ない物を危ないと感じられる人づくりとは？

プチ腹落ち研鑽会

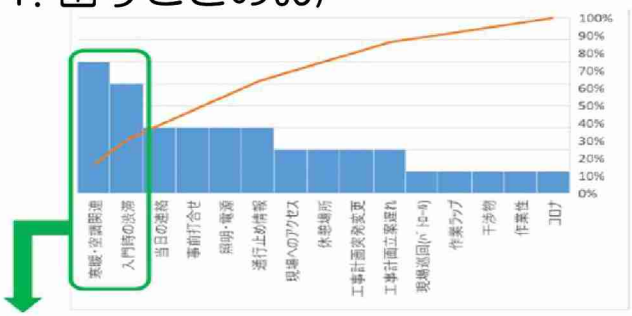
- 同ショップ間でスピーディーに情報共有かつコロナ禍における密回避をすべく、リモートにて実施（開催頻度も増加）



構内で働く全ての人の安全を守る取り組み

仕入先様が働きやすい環境づくりを推進

1. 困りごとのお声



仕入先様からの困りごとの声は減少しているものの、まだまだ数多く寄せられている（左図）

一つ一つのお声に耳を傾け真摯に対応していく！

2. 取り組み事例

(1)空調依頼方法がわからない

依頼方法をリスト化し、仕入先様が必ず見る工事システムに掲載

(2)入門時に渋滞する

帳票記入エリア増設

動線分け

誘導者配置

案内表示

各地域(グローバル)の仕入先様への寄り添いの取り組み

- グローバル安全会議を１回/月開催
- 各地域の仕入先様への取組みを共有し困り事をグローバルで解決

取り組み事例

(1)仕入先様へ家族のように寄り添う為の意識・知識向上

メンバーへの寄り添いの意味を展開

VTRで工事安全ルールを展開

(2)具体的な仕入先様作業の改善事例の共有とディスカッション

（例）金型ボルト締付作業のエルゴ改善

国内工場に横展

危険体験によるKY能力向上の取り組み

バーチャルでの体感を通じ、災害をより自分事として捉え、安全行動に活かす

- 実際に災害を体験することは出来ないが、災害の疑似体験を通じて、その「怖さ」を覚えてもらう
- 新入社員教育等で活用し、経験の浅い方のKY能力向上に役立てる

	挟まれ（プレス）	重量物（落下）	歩行（2場面）	オフィスKY
コンテンツ概要				
	・設備を止めず、異常処置し、挟まれ	・ｶﾊﾞｰ運搬中、吊りﾎﾞﾙﾄが外れ落下し接触	・歩行時の転倒 ・ながらスマホによる転倒	・ｵﾌｨｽ内の危険個所探し
目的	・過去の重大災害を体感し怖さを肌身で感じる ・ルールの背景と大切さを理解する		・身近な歩行の怖さを理解する	・ｹﾞｰﾑ感覚でKY実施

＜VR機器＞

HTC VIVEを使用

今後もルールの大切さと災害からの学びを織り込み、安全意識・知識を深める

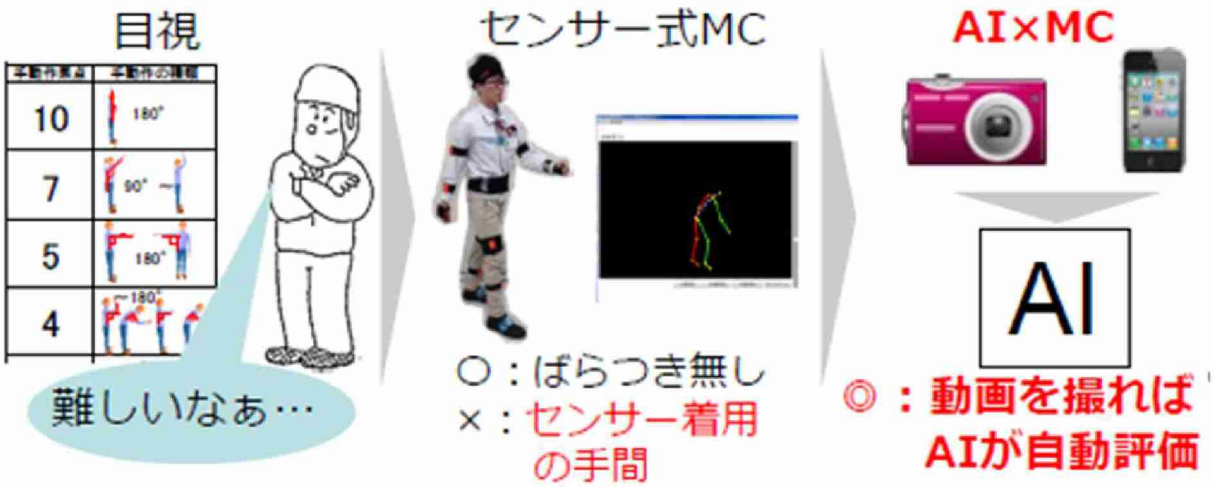
疾病の未然防止の取り組み

AIを活用し、エルゴ評価の精度上昇・工数低減をはかる
→作業負荷を視える化し疾病未然防止へ

1. エルゴ評価の目的

作業の負荷を数値化し、疾病未然防止につなげる

2. 従来のエルゴ評価法



3. AI×MCによる効果

センサー式MCと同等の精度
上記を目指して開発中！！！